

平成29年度大学生等による地域創生推進事業活動報告会「地域づくりオープンカフェ」 参加グループの取組概要

平成30年2月 10日

1年目(実態調査)グループ

①近畿大学片岡ゼミ×川俣町山木屋(やまきや)

活動：現地ヒアリング、視光資源フィールド調査、仮置き場視察、農業体験。



提案：集落復興・帰還促進に向け、進民制による交流人口増加(「山きいへや倶楽部制度」)。山木屋自然体感イベント、花卉栽培体験、川俣軍鶏レースイベント、山木屋同窓会、こくまきイベントの開催。

②国士舘大学文学部地理・環境コース宮地ゼミナール×二本松市西谷(にしたに)

活動：農業体験、東和ロードレース、西谷フェスへの参加。交流会の実施、学園祭での農産物販売。



提案：学園祭での米、郷土料理の販売。集落の食文化を学ぶ西谷めしフェスの開催。田植え・稲刈りツアーの実施。

③桜美林大学渡邊ゼミ×相馬市松川港町(まつかわみなとまち)

活動：観光の力をいかした、集落復興のための集落の現状(震災後の観光客の伸び悩み)、観光資源調査の実施。



提案：新規顧客を生み出す、勉強合宿の実施やHPの改善。震災前の観光客を呼び戻す、グルメサーフィン大会等の開催。漁業・観光・農業の一体感を出す、豊漁祭、常花PI、藤の花植樹等の開催。

④獨協大学地域活性化プロジェクト大竹チーム×南会津町耻風(はじかぜ)

活動：地域資源調査(農作物、空き家等)、山、川の地形調査、除雪作業参加、住民交流会の実施。



提案：地域内に外部からの新たな経済循環をもたらす若者が暮らせる基盤づくり。耻風特産品(そば粉)のブランド化(パッケージ開発)。蔵をリノベーションしカフェ、宿泊施設に活用。

⑤獨協大学地域活性化プロジェクト米山チーム×田村市瀬川(せがわ)

活動：瀬川ウォーキング大会の実施、ヒアリング調査、瀬川特産物の現地見学、瀬川小学校文化祭見学。



提案：旧瀬川中学校・地区空き家を活用した交流の場の創出(「瀬川のお休み処(仮称)」)、SEGAWAマルシェの開催。観光マップ・案内版の作成、エコツアーの企画・開催。フラワーロード整備「愛を込めて花を植えようプロジェクト」等。

2年目(実証実験)グループ

⑥大東文化大学環境創造学部島田ゼミ×二本松市鷹二(たかに)

提案：SNSを活用した情報発信、空き家バンクの活用、住民との交流イベントの開催、柿や竹を活用した資源づくり等。



結果：三渡室を完全修復し、地域資源を復活。考案した柿レシビで集落住民との試食会や、道の駅来場者による試食会を実施し、新たな資源の提案。

⑦上越教育大学伊藤研究室×西会津町下野尻(しもじり)

提案：地区内の名所の景観整備、空き家を観光客の宿泊所として活用するためのリノベーション、専門分野の美術をいかしたワークショップの開催。



結果：住民が持つ「旧越後街道」への愛情をいかし、地元小学校と連携して、ワークショップ「越後街道を描こう!」を開催(子どもたちと街道周辺を散策し、魅力を発見。絵や紙芝居の製作)。道の駅に展示し来場者へ魅力発信。

⑧東洋大学藤井信幸ゼミナール×伊達市五十沢(いさざわ)

提案：廃校を活用した「あんぼ柿歴史館」の開設、歴史小冊子の作成・活用、新しい食べ方の提案等により地域ブランドの再構築を図る。



結果：PR活動(学園祭参加・PR動画製作・プレゼン大会参加)、新パッケージ考案、新レシビ開発、首都圏で開催されるマルシェへ出店、旧小学校を活用した「あんぼ柿歴史館構想」の提案。

⑨日本大学工学部建築学科建築計画研究室×南会津町大桃(おおもも)

提案：「大桃の舞台」の演出向上、新たなイベントによる住民間のコミュニティの維持、買い物弱者のサポート。



結果：公演の質を上げるため、「デザインコンペ」を実施。第10回大桃夢舞台の開催。PRやレイアウト(※)を工夫し、昨年度を上回る観客が訪れた。※くつろぎやすい客席配置や「お花」と呼ばれる御祝儀の張り紙を飾り舞台の華やかさを増す。

⑩福大ゆがわ調査隊(福島大学)×湯川村堂畑(どうばたけ)

提案：堂畑マルシェを今後も継続し、若者の力で地域を盛り上げる。堂畑活性化サロンを実施し、住民が集まる機会をつくる。SNSを活用して活動の様子や風景を発信する。



結果：堂畑マルシェの継続開催(子どもたちと豊かな野菜を掛け合わせ集落の新たな魅力を創出。福大祭でのマルシェ開催)。堂畑マルシェのロゴマーク作成。夏休みに合わせて子どもと学生の交流の場「堂畑活性化サロン」を開催(子どもたちと勉強会、集落内探索、親世代との懇談会)。

⑪福島大学経済経営学類西川ゼミ×下郷町十文字(じゅうもんじ)

提案：農業の見学・体験ツアーを実施し、地域の若者に農業への興味を持ってもらう。SNSを活用して町の魅力や風評払拭に向けた情報などを発信。そば祭りの活性化。(小中学校・観光地との連携等)



結果：地区で10年ほど前から行われている「そば祭り」を含めた、後継者不足解消のための体験ツアーの検討。町内の有名観光地と集落を結ぶ公共交通の充実を提案。

3年目~(交流継続グループ)

⑫一般社団法人つなぐ会(清泉女子大学)×いわき市貝泊(かいどまり)

※H25から交流継続
活動：田人町民運動会、ほっこり祭への参加。PCM手法を用いたミーティングの開催。



成果：地域住民との交流会を実施。ほっこり祭では、地元産いちごを使ったオリジナル「いちご甘酒」販売。地域のファンを増やすためオリジナルカードを配布。PCM手法を用いたミーティングでは地域おこし協力隊と連携し地域住民主体のプロジェクト実現に向け検討。

⑬とげっちょ組~地域活性化サークル~(福島大学)×南会津町中荒井(なかあらい)

※H27から交流継続
活動：前身の「福島大学わりばしから環境を考える会」から継続して活動。如活祭、歳之神への参加。「フットパス(田園地帯・神社仏閣・ソバ畑等地域に古くからある風景を楽しみながら歩くことができる小径)」マップ作り(地元住民と外部の方との交流を図る)。



成果：地元行事への参加により、住民との意識の共有が図られた。「フットパス」マップ製作により、新たな魅力を再発見。(次年度以降、住民に地元の良さを再発見してもらうため、積極的に意見を取り入れていく。)